

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.20
担当	課名 政策推進課
	グループ名 地方創生室グループ
	記入者名

1 事業概要

(1)事業名	総合戦略推進事業費(若者未来会議・コワーキングロビーNESTo)	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	①会計区分 一般会計				
②大項目	②財源区分 町単独				
③中項目	③予算科目 款 2 項 1 目 6				
④施策	④予算事業名 総合戦略推進事業費(若者未来会議・コワーキングロビーNESTo)				
⑤施策コード	1.2.2.2	掲載ページ	23	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	①総合戦略 若者未来会議				
②根拠法令・条例等	(該当事業名)				
③事業期間	開始 令和1 年 4 月から	終了	未定	年	月まで

2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)		(2) 内容(どのような取り組みか)	
【若者未来会議】 ①若者の知恵や柔軟な発想をまちづくりに反映する。 ②次代の担い手である若者の成長の場を提供する。 【コワーキングロビーNESTo】 企業等の地方への拠点分散を促進するとともに、町内での就業支援や域外からの人材確保、町内における人的交流を推進する。また、地域活動の拠点として有効活用していただくことで、関係人口の増加やにぎわいの創出を図る。		【若者未来会議】 小川町をより良くするアイデアを提案するとともに実践に取り組む。令和6年度からは、手に取って味わうことのできる魅力発信媒体として小川町を愛するきっかけを創出するために、若者目線で小川町の魅力を発信するプロモーションブック「おがわの魅力お届けBOOK」を制作している。 【コワーキングロビーNESTo】 歴史的建造物である「石蔵」の魅力を最大限活かしたコワーキングスペースを活用し、町の関係人口の創出・拡大に資する取組を会員とともに積極的に行う。	
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4) 成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)	
【若者未来会議】 若者未来会議メンバーを含む、概ね10代後半から30代の若者。 【コワーキングロビーNESTo】 コワーキングスペース等をはじめとしたテレワーク環境や多様な働き方を求める企業及び個人。		【若者未来会議】 まちなかで若い世代が賑わう町。 【コワーキングロビーNESTo】 コワーキングスペースの機能のほか、カフェやイベントスペースとして活用することにより、利用者同士や地域住民の交流の場、地域資源を活かした企業研修、町の魅力をPRするイベントの開催等、地域活動の幅を広げるとともに、関係人口の増加やにぎわいの創出を図る。	
対象数	-	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

【若者未来会議】
本町は人口減少(特に若者の転出超過)等が課題である。そのため、次代の担い手となる若者世代から多様な意見を伺うとともに、その知恵や柔軟な発想をまちづくりに反映し、若者が出て行かない町にしていける必要がある。
【コワーキングロビーNESTo】
テレワーク環境の整備や多様な働き方へのニーズがあり、都心から地方への移住希望者が一定数いるもののコロナの収束とともに人々が都心に流れつつある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容) 項 目 名 称		総合戦略推進事業費(若者未来会議・コワーキングロビーNESTo)				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算	今年度(R7年 度)当初予算
(2)事業費内訳	報償費(若者未来会議)	55	86	70	62	132
	補助金(若者未来会議)	552	0	205	234	250
	補助金(コワーキングロビーNESTo)	18,843	1,389	483	260	300
	委託料(コワーキングロビーNESTo)	495	0	35	35	36
	役務費(コワーキングロビーNESTo)	11	11	11	11	11
	需用費(コワーキングロビーNESTo)	0	0	0	269	0
	その他	0	0	0	0	0
直接事業費合計		19,956	1,486	804	871	729
(3)財源内訳	国庫支出金	16,789	0	0	0	0
	県支出金	869	900	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	2,298	586	804	871	729
	合 計	19,956	1,486	804	871	729
(4)補助金名	地方創生臨時交付金・ふるさと創造資金	ふるさと創造資金	-	-	-	
(5)人件費						
投入職員数		0.7	0.6	0.7	0.7	0.7
年間人件費		5,340	4,525	5,265	5,440	5,622
(6)総事業費		25,296	6,011	6,069	6,311	6,351
サービス量(若者未来会議→人、コワーキングロビーNESTo→施設数)		17	14	14	11	16
サービス単価		1488.0	429.4	433.5	573.8	397.0
(単位)		千円/【若者未来会議】構成メンバー1人あたり、【コワーキングロビーNESTo】1施設あたり				

4 指標の検証				総合戦略推進事業費(若者未来会議・コワーキングロビー-NESTo)		
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度) 決算	今年度(R7年度) 予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	【若者未来会議】会議等開催回数	目標値	回	10	10	10
		実績値	回	13	14	
		達成率	%	130.0	140.0	
	【コワーキングロビー-NESTo】	目標値	回	200	200	200
		実績値	回	243	244	
		達成率	%	121.5	122.0	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	【若者未来会議】企画の立案・実施	目標値	件	1	1	1
		実績値	件	1	1	
		達成率	%	100.0	100.0	
	【コワーキングロビー-NESTo】施設利用会員登録者数	目標値	件	200	200	200
		実績値	件	224	190	
		達成率	%	112.0	95.0	
(3)その他指標に現れない成果						
【若者未来会議】若者が小川町の魅力に触れる機会を提供することで、交流人口・関係人口の増加を図ることができる。また、若者が持つ行動力、情報拡散力により、小川町の地域資源を掘起し広くPRすることに繋がる。 【コワーキングロビー-NESTo】カフェを併設し、憩いの場として広く一般に開放することにより、コワーキング利用者だけの利用に留まらず、地域住民や町外からの来訪者が気軽に集い、交流することができる。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(若者未来会議→次代の担い手となる若者の多様な意見を反映する事業である。コワーキングロビー-NESTo→町を含む4者で協議会を設立し官民連携により実施。)	
	手段の妥当性	2	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他(若者未来会議は住民参加型であり若者目線での意見反映に効果がある。NESToは官民連携である必要性は低い。)	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	3	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他(若者未来会議→若者の交流人口・関係人口増加に伴う地域活性化は、全世代の受益を生む。コワーキングロビー-NESTo→公平に分配されている。)	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(若者未来会議→成果指標は、目標値を達成している。コワーキングロビー-NESTo→会員登録者数は減少しているが、継続利用者が多数存在する。)	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
【若者未来会議】バックグラウンドが異なる若者が、同世代が共感する町の良さ等、それらを活かした企画を考え冊子にして魅力を発信することは、人々が小川町を愛するきっかけを創出することに寄与した。そして継続してプロモーションを進めていくことで、波及的に関心層が広まり、小川町の知名度向上や愛着の深化を期待できる。また、若者の目線から自ら企画し実践する過程は、若者自身の成長に繋がるとともに地域との関わりにより目を向ける良いきっかけになる。一方でそのプロセスで生じる負担感の軽減が課題であり、活動しやすい仕組み作りをしていながら、持続可能な活動になるよう展開していく。 【コワーキングロビー-NESTo】地域資源である築約100年の石蔵を活用したコワーキングスペース等として、利用者数は順調に推移している。引き続き、登録会員同士だけでなく、地域の方たちとの交流の場となるよう、関係人口拡大に努めたい。一方でコワーキング利用のみでは運営は厳しい状況なので、イベント利用を増やす等、持続可能な経営を行っていく。また、古い建物になるので、利用者が安心して利用できるよう維持するとともに、使用貸借期間が令和7年10月で終了するにあたって、今後の事業展開について検討する必要がある。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	【若者未来会議】若者のアイデアを反映させ魅力発信を行っていくことは、町の活性化において重要である。 【コワーキングロビー-NESTo】検討を行いつつ、関係人口創出のため継続して取り組んでいく。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						